建設経済常任委員会

平成28年9月15日（木曜日）

建設経済常任委員会

平成28年9月15日（木曜日）

付議事件

《付託議案》

議案第 9号 平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項

出席委員（7名）

委員長	宮澤芳雄	副委員長	磯本繁
委員	滑川公英	委員	向後悦世
委員	林七巳	委員	飯嶋正利
委員	宮内保		

欠席委員（なし）

委員外出席者（2名）

議長	平野忠作	議員	米本弥一郎
----	------	----	-------

説明のため出席した者（17名）

副市長	加瀬寿一	商工観光課長	向後嘉弘
農水産課長	宮負賢治	建設課長	加瀬喜弘
都市整備課長	川口裕司	下水道課長	高野和彦
水道課長	加瀬宏之	農業委員会 農事務局長	相澤薫
その他担当 職員	9名		

事務局職員出席者

事務局長	阿曾博通	事務局次長	花澤義広
副主幹	榎澤茂		

開会 午前10時 0分

○委員長（宮澤芳雄） おはようございます。

大変お忙しい中、ご苦労さまです。本日も1日よろしく願いいたします。

ここで、委員会を開会する前に、あらかじめご了承願います。

議会だより取材のため、この後、職員が委員会室内の写真撮影を行いますので、ご了承願います。

ただいまの出席委員は7名、委員会は成立いたしました。

それでは、建設経済常任委員会を開会いたします。

なお、米本弥一郎議員より、本委員会を傍聴したい旨の申し出があり、これを許可いたしましたので、ご了解をお願いいたします。

本日、平野議長にご出席をいただいておりますので、ご挨拶をお願いいたします。

○議長（平野忠作） おはようございます。

委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

本日は、一般会計補正予算の1議案について審査をしていただくことになっております。

どうぞ、慎重なるご審議をお願いいたしまして、簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願ひします。

○委員長（宮澤芳雄） ありがとうございます。

議案等説明のため、副市長、担当課長及び職員の出席を求めました。

それでは、執行部を代表して、加瀬副市長よりご挨拶をお願いいたします。

副市長。

○副市長（加瀬寿一） おはようございます。本日は建設経済常任委員会の開催、大変ご苦労さまでございます。

さて、本日の委員会に審議をお願いいたします議案は、ただいま議長からご挨拶ありましたとおり、議案第9号の平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち、この建設経済常任委員会の所管事項の1案件でございます。執行部といたしましては、委員の皆様方からの質問に対しまして、簡潔、明瞭に答弁するよう努めてまいります。何とぞ可決くださいますようお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶といたします。よろしくお願ひいたします。

○委員長（宮澤芳雄） ありがとうございます。

議案の説明、質疑

○委員長（宮澤芳雄） ただいまから本委員会に付託されました議案の審査を行います。

去る9月5日の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案は、議案第9号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての1議案であります。

それでは、議案第9号中の所管事項について、補足説明がありましたらお願いいたします。
農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 議案第9号、平成28年度旭市一般会計補正予算（第2号）の議決について、農水産課所管の補足説明を申し上げます。

補正予算書の10ページをお開きください。

歳出からご説明いたします。

6款1項4目畜産振興費、19節負担金補助及び交付金、説明欄1の畜産競争力強化対策整備事業8,830万2,000円につきましてご説明申し上げます。

こちらの事業につきましては、6月の第2回定例会におきまして、補正予算を提案させていただきました事業と同様でありまして、8月に入りまして新たに干潟地域の2戸の畜産農家の補助事業が採択されたため、計上したものであります。

事業の目的につきましては、TPP関連で創設された国の事業でありまして、担い手の高齢化や後継者不足が深刻な畜産業を活性化し、高収益型の畜産、酪農体制を実現することを目的に、畜産農家へ支援されるものでございます。

事業の内容としましては、収益力を向上させる計画、目標に基づいて行われる施設整備に対し、補助金が交付されるものであります。補助金額につきましては、事業費の2分の1以内の額が国から交付されるものであり、制度上、県と市を經由して事業主体へ交付されるもので、市の負担はありません。

次に、歳入ですが、補正予算書の7ページをご覧ください。

14款2項4目農林水産業費県補助金、説明欄1の畜産競争力強化対策整備事業補助金ですが、歳出でご説明したとおり、国から県を經由して交付される8,830万2,000円を計上したも

のでございます。

以上で、議案第9号、農水産課所管の補足説明を終わりにさせていただきます。よろしく
お願いいたします。

○委員長（宮澤芳雄） 担当課の説明は終わりました。

議案第9号について、質疑がありましたらお願いいたします。

飯嶋正利委員。

○委員（飯嶋正利） 7ページ、畜産競争力強化対策事業ということで8,800万円、本当に大
きな額の補助事業が畜産関係にはございます。これだけあれば、かなりほかの事業ならやれ
るのかなという感じがいたします。

まず、これは6月に出たものの追加ということによろしいんですか。それとやはり、やっ
ぱり副市長もきょうはいらっしゃっているので、やっぱり畜産業者の稲作農家が下請になっ
ているようなイメージが非常に強うございます。ホールクroppにしても、やっぱり場所も
選んで、あれもしてという形で、そういう形じゃなくて、やっぱり稲作農家には稲作農家な
りの補助事業というのが、これからの地域型ではないかなと。

大規模にやっている方は皆さん言っているんですけども、本当に畜産業者の下請をやっ
ているわけではないので、その辺のところも十分理解していただいた中で、補助事業を県の
ほうにも要望していただきたいなというふうに思いますけれども、まずこの6月議会から先
送りになった理由も含めてお願いいたします。

○委員長（宮澤芳雄） 飯嶋正利委員の質疑に対し、答弁を求めます。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 6月の補正の時に、畜産農家の方で要望を出しても県の承認が受
けられなかった方が2件ございました。その方が、今回国の二次要望が、募集がありまして、
そこへ応募して採択されたわけなんですけれども、当初の計画では、収益力を上げるという
中でまだ内容がちょっと弱いということがあって、それを練り直して申請書といいますか、
計画書を作って、国へ上げて認められたものでございます。

以上です。

○委員長（宮澤芳雄） 飯嶋委員。

○委員（飯嶋正利） この手の事業は来年度も続いてあるんでしょうか。ほかの業者は、上げ
たくても、上げてなかなか通らないですよ。畜産業者は2業者漏れたからといって、そ
れが追加になるというような現状でございます。ほかについてはいかがなんでしょうか。

○委員長（宮澤芳雄） 飯嶋正利委員の質疑に対し、答弁を求めます。

農水産課長。

（発言する人あり）

○委員長（宮澤芳雄） 1点よろしいですか。この事業内容を改めてもう1回お聞かせいただいてよろしいでしょうか。もう1回改めて、事業のざっくりでいいですから。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 今回採択された2件の事業の内容ですけれども、2件のうち1件目は、家畜排せつ物の処理施設、通称縦型コンポストと言っているものですが、これが2基の導入と、来年度にこの方、2年継続でこの方補助採択になっておりまして、来年度に向けて、来年度建設する肥育施設の設計、これを合わせまして事業費が8,989万9,516円という事業でございます。それからもう1件の方は、肥育舎3棟の建設事業費でございます、事業費が9,745万7,802円です。この2件合わせますと、事業費の合計が税抜きで1億8,735万7,318円でございます、これに対して補助金が事業費の2分の1以内ということで調整・配分されまして、8,830万2,000円が事業主体へ交付されるものでございます。

（発言する人あり）

○農水産課長（宮負賢治） 園芸関係とかですか。

要望したものにつきましては、順調といたしますか、要望のあった順に順次申請書を出して、順次交付決定いただいているというような状況でございます。

○委員長（宮澤芳雄） そのほか質疑ありますか。

向後悦世委員。

○委員（向後悦世） 畜産農家の補助事業に関して、ちょっとお尋ねします。

全く補助金を受けなくても立派に経営している畜産農家もあるんですよね。そうすると、補助金いっぱい使っても、立派に経営しているんでしょうけれども、この違いは何だと思えますか。

○委員長（宮澤芳雄） 農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 今回は、補助事業がTPP対策ということで、今以上にうまくやりますようにしてくださいという国の方針で、それに乗ろうという方が手を挙げて、今以上にうまくやろうと、ですから頭数を増やして、さらに収益を上げようという方が手を挙げていただいているというような状況でございます。

○委員長（宮澤芳雄） いいですか。

○委員（向後悦世） いいです。

○委員長（宮澤芳雄） ほかに。

滑川公英委員。

○委員（滑川公英） 基本的には、これはもうTPPが合意されるということで、畜産が一番被害が大きいということで、国から率先してこういう予算が出ているということがある。このトータルの6億何千万円ですか、これについては、全部で何件あって、全部規模拡大のための投資なんですか。それとも、リニューアルするための投資なんですか。

○委員長（宮澤芳雄） 滑川公英委員の質疑に対し、答弁を求めます。

農水産課長。

○農水産課長（宮負賢治） 基本的には、畜産、養豚関係で、母豚を増やす方向に向かっております。ですので、改築して同じ頭数ではなくて、改築して新しいのを建てて、母豚を増やして年間の肥育頭数を増やしていこうと、こういった事業でございます。

6月の補正分と9月の補正分と合わせますと、母豚が2,640頭増える計画でございます。

以上です。

（発言する人あり）

○農水産課長（宮負賢治） 失礼しました。

形態は、全部で酪農が1、養豚関係が7件でございます。

（発言する人あり）

○農水産課長（宮負賢治） 法人化している方もいらっしゃいますし、個人経営の方もいらっしゃいます。

○委員長（宮澤芳雄） ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（宮澤芳雄） 特にないようですので、議案第9号の質疑を終わります。

以上で、付託議案についての質疑は終わりました。

議案の採決

○委員長（宮澤芳雄） これより、討論を省略して議案の採決をいたします。

議案第9号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項に

ついて、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長(宮澤芳雄) 全員賛成。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(宮澤芳雄) ご異議ないようでございますので、委員長報告は委員長一任とさせていただきます。

所管事項の報告

○委員長(宮澤芳雄) 次に、所管事項の報告に入ります。

報告がある所管課は、随時報告をしてください。

農水産課長。

○農水産課長(宮負賢治) 農水産課から株式会社千葉県食肉公社の第21期事業報告書及び第22期事業計画書について報告をさせていただきます。

資料は、右上に農水産課と書かれた資料になります。

この資料は、株式会社千葉県食肉公社の事業報告と事業計画ですが、内容に入る前に、この資料を総務常任委員会で報告させていただくことになりました経緯を説明させていただきます。

食肉公社につきましては、資本金7億2,000万円のうち、市が4分の1に当たる1億8,000万円を出資しております。その上で市は、公社が日本政策金融公庫等から借り入れた資金に対し、損失補償を行っております。その関係で、地方自治法第243条の3及び地方自治法施行令第152条の規定に基づき、毎年9月定例議会におきまして、経営状況の報告を提出していましたが、借入金の額が年々減少しまして、平成27年度末をもって議会への報告義務がなくなりましたので、本会議ではなく建設経済常任委員会で報告させていただくことにしたものでございます。

具体的に申し上げますと、法令では、議会へ報告しなければならない損失補償の額は、資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1に相当する額以上の額とされております。公社の借入金は、当初32億6,600万円でしたが、平成27年度までに29億804万円余りの元金を返済し、計画どおり着実に償還しております。その結果、平成28年3月31日現在、借入金の元金及び利子は、3億5,814万2,462円となっており、資本金の7億2,000万円の2分の1であります3億6,000万円を下回っております。

したがって、本年は本会議ではなく、建設経済常任委員会で公社の経営状況を報告させていただきますこととしたものでございます。

なお、借入金の最終返済期日は、平成30年9月であります。

それでは、お手元の資料の1ページをご覧ください。

Iの事業報告ですが、平成27年度の屠畜数は、大動物の牛が1万4,923頭で、前年より1,677頭減少し、前年比89.9%で、小動物の豚は41万6,933頭で、前年より2万9,940頭増加し、前年比107.7%となっております。

この牛の減少理由ですけれども、全国的に繁殖農家、酪農家の減少により、市場に出荷される子牛、肉用牛の素畜の頭数が減少しているからと見られております。豚の増加理由につきましては、豚流行性下痢の影響が回復したものと見られております。

枝肉販売実績は、牛が3,508頭で、前年より110頭減少し、前年比97.0%で、豚は16万8,991頭で、前年より1万7,480頭増加し、前年比111.5%となっております。

次に、IIの貸借対照表は説明を省略させていただきまして、収支につきまして、IIIの損益計算書でご説明いたします。

2ページをご覧ください。

収入となります売上高の合計は、101億2,995万4,000円で、これに対し、費用となります売上原価の合計は、98億1,165万2,000円で、差し引きしますと、中段にありますけれども、売上総利益金額は、3億1,803万1,000円となっております。これから販売費等を差し引いた営業利益は、9,114万8,000円で、一番下にあります税引き後の当期純利益は、5,264万9,000円となっております。

続きまして、3ページをご覧ください。

IVは第22期事業計画で、平成28年度の屠畜計画数につきましては、牛が1万3,450頭で、前年比90.1%、豚は42万頭で、前年比100.7%となっております。また販売頭数は、牛が2,640頭で、前年比75.3%、豚は16万3,000頭で、前年比96.5%の販売計画となっております。

なお、牛の屠畜数や販売頭数の減少理由は、先ほど申し上げましたとおり、子牛の出荷減少によるもので、さらに減少傾向にあるものと見ております。

4ページをご覧ください。

平成28年度の収支計画で、本年度も効率的な経営と一般管理費の削減等に努めることとして、表の一番下にありますように、当期純利益を1,845万9,000円と見込んでおります。

以上で、株式会社千葉県食肉公社の第21期事業報告書及び第22期事業計画書についての報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 担当課の報告は終わりました。

初めに担当課長より説明があったとおり、本報告事項に関しましては、本年度より議会に対して報告の義務がないということでもあります。しかしながら、担当課の配慮によりまして、担当所管する建設経済のほうには、どうしてもこの委員会に報告をさせていただきたいという配慮がございますので、委員会としても質問をしないということをご了解をいただきたいと思います。

ほかにありますでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（宮澤芳雄） 特にないようですので、所管事項の報告を終わります。

○委員長（宮澤芳雄） 以上をもちまして、本委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時24分

旭市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

旭市議会建設経済常任委員会委員長 宮澤芳雄